

大阪大学老年学研究会 平成26年度活動報告会



老年学は様々な研究領域の研究者が共同し、老化、高齢者、高齢社会について解明しようとする研究分野です。大阪大学でも今後の長寿社会を見据え老年学の研究を推進しようという機運が生まれ、平成25年度に部局を横断する老年学研究会を組織いたしました。

今回は、専門家、学生を対象にした活動報告会を企画いたしました。内容は、2名の学外の研究者によるご講演、4名の学内の研究者による研究発表からなります。

ご講演は、栄養疫学がご専門の大久保公美先生（国立保健医療科学院）と、心理学がご専門の高山緑先生（慶應義塾大学）にお願いいたしました。すでに、老化や高齢期の研究を行っている方、これから研究を始めようと考えている方、老年学に興味のある学生の皆さん奮ってご参加ください。

事前申し込みは必要ありません。

日時: 平成26年1月25日（日）
午後1時30分～5時

場所: 大阪大学銀杏会館
阪急電鉄・三和銀行ホール

事務局 大阪大学大学院人間科学研究科
臨床死生学・老年行動学講座
連絡先 Gerontology.Osaka@gmail.com
主 催 大阪大学老年学研究会
大阪大学大学院人間科学研究科
臨床死生学・老年行動学講座
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
総合ヘルスプロモーション科学講座
大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔機能再建学講座
有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野
共 催 慶應義塾大学百寿総合研究センター
東京都健康長寿医療センター研究所

プログラム

1. 講演

食事由来の総抗酸化能が加齢に伴う健康状態に及ぼす影響: 英国 Hertfordshire Studyの結果より

大久保公美（国立保健医療科学院）

幸福感、健康と心理・社会的要因の関係性

高山緑（慶應義塾大学）

2. 研究報告

複数の時間尺度で発達を捉える: 未来知創造プログラムの研究紹介

中川威（大阪大学人間科学研究科）

双子老人研究からみた遺伝率の変動

尾形宗士郎（大阪大学医学系研究科）

高齢者における高血圧とフレイルとの関連

中間千香子（大阪大学医学系研究科）

70歳と80歳の歯・口腔機能の3年間の変化

池邊一典（大阪大学歯学研究科）